



あなたの未来を守るライフスタイル情報誌

# 乳酸菌 PRESS

NO.2 3  
2017  
MARCH

## INDEX

NEWS 01 予防歯科のトップランナー『日吉歯科』酒田診療所…P.1  
NEWS 02 熊谷直大所長 インタビュー ……P.2  
NEWS 03 健大高崎高校を訪問 ……P.4  
NEWS 04 全日本野球協会野球指導者講習会 ……P.5

NEWS 05 (宮城県)秀光中等教育学校 訪問…P.6  
NEWS 06 お客様の声 ……P.7  
NEWS 07 ベルマークのお知らせ ……P.7  
NEWS 08 LSI ショップからのお知らせ ……P.8

NEWS 09 コイケヤスナック菓子紹介 ……P.8  
NEWS 10 雑誌掲載 ……P.8

「口腔のケア」が全身の健康を保つ、QOL向上の隠れた重要分野であることはあまり知られていない。実は、この酒田市には市人口(約10万5,000人)の3割が受診し、1割以上が定期的なメンテナンスに通う日吉歯科診療所がある。37年前から虫歯や歯周病の発症・再発を予防する医療プログラムを実践。一庄内地域に住む人々の口腔内の健康状態を世界一にしようというビジョンを掲げ、「虫歯や歯周病」にならないために通う、歯科医療を確立した熊谷崇理事長に、なぜ予防医療が望ましいのか、話を伺った。

日吉歯科の初診では、すぐ治療には入らない。まずは「検査」と「説明」からはじまる。歯周病検査を行い、口腔内写真とレントゲン写真を何枚も撮って、1本1本の歯の状態を確認する。唾液検査で虫歯や歯周病になりやすいリスクを判定。必要な場合は痛みを止めるなどの応急処置が施され、正しい歯磨きのしかたを指導する。次の来院で検査結果が説明され、患者が自身の口腔内の状態を知ったうえで、歯科衛生士がバイオフィルム(菌膜)を除去し、口腔を清潔にして治療可能な

「口腔のケア」が全身の健康を保つ、QOL向上の隠れた重要分野であることはあまり知られていない。実は、この酒田市には市人口(約10万5,000人)の3割が受診し、1割以上が定期的なメンテナンスに通う日吉歯科診療所がある。37年前から虫歯や歯周病の発症・再発を予防する医療プログラムを実践。一庄内地域に住む人々の口腔内の健康状態を世界一にしようというビジョンを掲げ、「虫歯や歯周病」にならないために通う、歯科医療を確立した熊谷崇理事長に、なぜ予防医療が望ましいのか、話を伺った。

日吉歯科の初診では、すぐ治療には入らない。まずは「検査」と「説明」からはじまる。歯周病検査を行い、口腔内写真とレントゲン写真を何枚も撮って、1本1本の歯の状態を確認する。唾液検査で虫歯や歯周病になりやすいリスクを判定。必要な場合は痛みを止めるなどの応急処置が施され、正しい歯磨きのしかたを指導する。次の来院で検査結果が説明され、患者が自身の口腔内の状態を知ったうえで、歯科衛生士がバイオフィルム(菌膜)を除去し、口腔を清潔にして治療可能な

## 湖

池屋・乳酸菌LSIにとつて「予防歯科」と向き合つては、大変重要なテーマです。

## 悪循環

「痛くなったら治療する」は虫歯や歯周病になったら歯医者に行く。しかし治療が終わって痛みが引くと、いつのまにか口のなかのことは忘れ、ふだんの歯磨きもおろそかにしがちに。その繰り返しで、歳をとつたら入れ歯やインプラントに頼らざるを得なくなる。大半の人が陥っているそんな悪循環を断ち切ろうと、「予防医療」に傾注する歯科医院が山形県酒田市にある。熊谷崇さんが理事長を務める医療法人社団日吉歯科診療所だ。



### Profile

熊谷 崇さん

1942年生まれ、東京都出身。日本大学歯学部卒。1980年山形県酒田市に開業(日吉歯科診療所)。マルメ大学名誉博士号、日本大学客員教授、東北公益文科大学理事。虫歯や歯周病の進行を防ぐ「予防」の分野で「革命的」とすら評される実績を残してきた。痛みを治す歯医者ではなく、痛くならないための歯医者を目指している。関連書籍:歯を守れ!予防歯科に命を懸けた男(日吉歯科診療所・熊谷崇の挑戦)

転載:あしたのコミュニティーラボ 撮影:川本聖哉



転載:あしたのコミュニティーラボ 撮影:川本聖哉

vol.1

『プロフェッショナル—仕事の流儀—』  
『カンブリア宮殿』に登場!

## 予防歯科の世界的権威 熊谷 崇理事長率いる「日吉歯科」で LS1の試食展示を始めました。

状態にまで整えてから、はじめて治療にとりかかるのだ。

治療して終わりではないところが「予防歯科」の真骨頂。初診時に比べ口腔内の状態がどれだけ改善したか、再検査で確認し、患者に説明する。その後は改善した状態を維持するため、ふだんの歯磨きでは取り除けない歯石除去やクリーニング、フッ素塗布などの定期的なメンテナンスへと移行。その頻度やプログラム内容は、患者の口腔内の健康状態や抱えているリスクに応じて1人ひとり違う。もちろん日頃の歯磨きやデンタルフロスによるケアも怠らないように促す。

### 再発を予防するのが歯科医

ここまで徹底して虫歯や歯周病の原因を突き止め、取り除き、治療したうえでメンテナンスを重視する歯科医は全国的にも珍しい。だが熊谷さんは「ライセンスを持つ歯科医師として当然やるべきことをしているだけ」と明言する。「もちろん歯医者には患者さんの歯を治療するのですが、検査・診断・治療・メンテナンスのプロセスを通じて虫歯や歯周病を再発しないように予防することがもっとも重要な仕事です。歯をなくした患者さんに、上手な入れ歯を提供するのが歯医者の本分ではない。もともと歯を80年以上もたせられれば、何でもおいしく食べられ、全身の健康が維持されて、最高のQOL(生活の質)を得られます。現在、高齢で亡くなる人の歯はほとんど自分の歯ではありません。命の寿命と歯の寿命を逆転させたい。それが臨床医としての最大の目標です」

生涯にわたって自分の歯で生活するには、0歳児からの口腔ケアが欠かせない。そのため日吉医院では小児歯科治療にも力を入れている。0歳から20歳までは虫歯や歯肉炎のリスクが高いだけでなく、乳歯から永久歯への生え変わり、歯列の変化、骨格の成長など、一生のうちで変化が最も大きい。この時期の適切なコントロールやホームケアの指導、メンテナンスが極めて重要なのだ。20歳まで口のなかで健康であ

### 日吉歯科の進化は止まらない。

現在、富士通が開発した「歯の健康ファイル」というクラウド上のサービスを利用して、初診からメンテナンスに至るまでのレントゲン写真、むし歯や歯周病のリスクなどの検査結果を、患者さんに情報提供できるシステムの稼働を開始した。そうすることによって、口腔内の情報が身近になり、治療、メンテナンス、患者のホームケアの質が問われるようになる。また、平田牧場、富士通を始め、多くの企業が社員のためにメンテナンスの費用を福利厚生として補助しており、その他準備中の企業も多々ある。同制度は、湖池屋でも2017年2月よりスタートした。(次項関連記事)

次号の「予防歯科の世界的権威・熊谷崇理事長率いる『日吉歯科』でLS1の試食展示を始めました」VOL.2へ続く



vol.2

『プロフェッショナル 仕事の流儀-』『カンブリア宮殿』に登場!

# 予防歯科の世界的権威 熊谷崇理事長率いる「日吉歯科」で LS1の試食販売を始めました。



## スナック菓子メーカー湖池屋と 日吉歯科様との出会い

日吉歯科様との出会いのきっかけは、約1年前にさかのぼります。テレビ東京「カンブリア宮殿」の放映を筆者(コイケヤ)LS1ショップ店長・青島健二(二)が見たことから始まりました。番組内で「歯は治療するのではなく、予防するものだ」と語られていた熊谷崇理事長にお会いし、即座にお電話をさせていただきました。緊張のあまり、しどろもどろになりながらも熊谷理事長からの第一声は「今週末に歯科医向けの勉強会があるので、是非参加してみてください」という温かい言葉でした。

## 乳酸菌LS1と予防歯科の 向きあい方を考える

日吉歯科様より弊社後、2002年に発売後、初めて乳酸菌LS1を全面リニューアルし、新商品を発売するという計画を立てていた時期でしたので、改めてどのような順序で、どのような活動をしなければならぬのか、再考する日々が始まりました。

そもそも乳酸菌LS1は、薬事法の規制により、その効果を明確に謳うことができません。

「予防歯科」について正しい知識を学び、真剣に向き合う機会を得たことで、ホームケアの一助となるためのブランドリニューアルへの示唆となり、議論は社内で大いに熱を帯びていきました。

結果、洗面所等に置かれても清潔感を感じていただけるデザインへの変更、お子様もなめやすいフルーツの味、といった新商品開発に至り、2016年4月にブランドの刷新と新商品の発売に辿り着いたのです。(写真左)

## 予防メンテナンスを患者として体験

予防歯科への理解や知識をより深め、まずは自分達が健康になることを目指し、前号(乳酸菌PRESS 3月号)で掲載しました日吉歯科汐留診療所(2016年3月開設)、熊谷直大所長のご協力を仰ぎながら、私とLS1ショップの社員である佐久間店長代理2名が、実際にメンテナンスを始めました。正直に言えば、「歯が痛くもないのに歯医者さんへ通う」ことに慣れている2名です。

「歯医者さんに行く」というと、皆さん「痛い」「怖い」「面倒くさい」というイメージが浮かぶ方々もいらっしゃると思いますが、痛みや辛さとは真逆で、とても気持ち良く、リフレッシュでき、口の中を汚すのがもったいなくなる感覚になりました。

日吉歯科様が推奨されており、MTM(メディカル・トリートメント・モデル)は、口腔内の状態や唾液の分析を、詳細で科学的なアプローチで診断することから始めるという、いままでの概念にない診療でした。

メンテナンスの有効性や必要性について、患者さんに対し「見える化」を実現され、患者さんより傾く健康の維持・増進に貢献できるようなコミュニケーションが実現されています。

あたりまえの事かもしれませんが、「健康でもありませんが」「健康でありたい」と思う患者さんには、医療現場での詳細な治療方法や、患者さん自身の口腔内の具体的な数値の変化や数値のレベルの比較、またどのようなホームケアが必要なのかを詳しく知りたい、という気持ちになるのが当たり前にあり、それを



日吉歯科が推奨する「MTM(メディカル・トリートメント・モデル)の一連の流れ

## 市民の約3割が受診、約1割が定期的に通う歯科診療所

テレビ番組を見てから3日後、私は日吉歯科酒田診療所へと向かい、羽田空港から1時間強で初めて山形・庄内空港に降り立ちました。前号(乳酸菌PRESS 3月号)でも触れましたが、日吉歯科は酒田市の人口(約10.5万人)の3割が受診し、1割以上が定期的なメンテナンスに通うという、データ的には驚愕の歯科診療所です。空港で待機しているタクシーの運転手さんたちに、試しに軽くインタビューしてみました。「日吉歯科さんという歯医者さんをご存知ですか?」驚くことに知らない運転手さんはいませんでした。さらに、「飛行機を使って全国からお客さんが来ているよ。」と、

さらに驚愕のコメントを聞きました。初訪問で酒田診療所での「歯科医向けセミナー」に参加をさせていただきました。登壇された熊谷理事長は、2014年4月から「メンテナンス」を「自由診療」として始められた経緯から始まり、予防を推進する可能性、口腔の健康の価値を高める必要性など、日頃はなかなか着眼できない革新的なテーマを、医師ではない私でもわかりやすく、次々と話されました。

「世界レベル」の歯科診療所に終日滞在し、私が今まで持っていた歯科の概念を大きく覆す内容が多々あり、

目を見開かされたような感覚を、今でも鮮明に覚えております。

熊谷理事長が率いる酒田診療所の皆様は、真剣に「市民の健康を世界一にする」という目標を掲げ、強い信念の元に遂行されていることが、患者さんとの信頼関係を揺るぎないものになっているのだと感じました。

「予防」という概念を真剣に考える上で、まずは私たちが「いつまでも健康でありたい」と思うことから始まり、健康であることがあたりまえではなく「価値」と捉えられるかが、日々の生活においては個人の責任であると思います。



閑静な街並の中に和洋折衷の特徴的な外観で立つ日吉歯科酒田診療所



酒田診療所の医師、歯科衛生士の皆さんにLS1の紹介をする熊谷理事長



診療所の受付に「乳酸菌PRESS」とともに並べられた乳酸菌LS1



乳酸菌LS1の説明会には酒田診療所のスタッフ総勢約40名が参加

## 乳酸菌LS1・酒田からのチャレンジ

2017年3月初旬、私たちは日吉歯科酒田診療所の研修室に伺いました。日頃は、院内の方々や、他県より研修に来られる歯科医や歯科衛生士さんが、様々な勉強をされる場所です。酒田診療所の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、総勢約40名の方々へ乳酸菌LS1の商品説明や、「乳酸菌PRESS」でも毎月掲載している競技スポーツ選手、チームへの予防歯科に関する活動のご紹介です。

初めての出会いから約1年2ヵ月、私たちに様々な知識と経験の機会を与えてくださった予防歯科の真正正銘のエキスパートの方々より、今後もご意見やアドバイスをいただくこ

とを目的に実施させていただいた、貴重な会です。

参加された方々から時折笑いも出るあたりは、「スナック菓子メーカーの湖池屋」が、テレビでも取り上げられた秀逸な歯科診療所で説明会を実施しているという「異色の組み合わせ」の影響でしょうか、新たな発見や発明が生まれる予感も感じます。

そして、同診療所での乳酸菌LS1の試食販売が開始されました。単なる販売ではなく、同時にLS1を試していただく診療所のスタッフの皆様と合わせ、口腔内及び全身の健康維持・増進のモチベーションが非常に高い方々からの評価をヒアリングすることを大切に考える新たなチャレンジです。

このチャレンジの先には、乳酸菌LS1を真剣にお使いいただいている「健康でありたい」というお客様に対して、お役に立てる新たな商品作りや、研究、サービスにつなげていくことが私たちLS1ショップの使命です。

### Profile

熊谷 崇さん

1942年生まれ、東京都出身。日本大学歯学部卒。1980年山形県酒田市に開業(日吉歯科診療所)。マルメ大学名誉博士号、日本大学客員教授、東北公益文科大学理事。虫歯や歯周病の進行を防ぐ「予防」の分野で『革命的』と評される実績を残してきている。痛みを治す歯医者ではなく、痛くならないための歯医者を目指している。関連書籍:歯を守れ!予防歯科に命を懸けた男(日吉歯科診療所・熊谷 崇の挑戦)